

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。その概要は、次のとおりです。
（ ）内には、各党派等からの質問申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	2人	80分
公明党	1人	30分
誠友会	1人	45分
日本共産党	1人	35分
無所属	1人	30分

*一般質問の録画放送をインターネットで見ることができます。(詳細は下段)



つれいし 連石 武則
水曜会 (50分)

児童生徒のタブレット活用は

問 ①赤坂小学校でタブレットを活用した授業を実施している。これまでの成果と課題は。②児童生徒に1人1台のタブレット端末を整備する。便利な反面、学びの深化がおろそかになる危険もあると考えるが、デジタル教材をどう取り扱うか。

答 ①教員が常に端末活用の時間や内容を決めるのではなく、子どもたちが判断、選択する「学習者中心」の活用を大切にしてきた。子どもと一緒に活用の仕方を考えることで活用の場面が広がっている。一方、赤坂小学校の保護者アンケートでは、視力低下など健康面の心配が増えており、健康面も踏まえた活用のルール等の基本案を各校に提示した。
②デジタルと紙のバランスの良い活用が大切だと考える。引き続き国の動向などを注視し、デジタル教材活用の在り方を検討していく。



はだ 羽田 俊介
水曜会 (30分)

鞆のまちづくりは

問 ①県事業について、本市の果たす役割は。②(仮称)鞆町平地区ふれあい広場の整備は。③鞆のまちづくりの将来展望は。

答 ①県は、町なか交通対策や生活環境改善のため、山側トンネル等の道路事業や、東西の交通・

交流拠点整備事業などを計画している。本市は、事業の地元調整を行い、平地区バイパスアクセス道路整備などの関連事業を進める。
②地域住民の避難場所、ふれあいや交流の場として、2022年度に工事に着手する予定である。
③「鞆まちづくりビジョン」では住民にとって住みやすく、訪れる人にとって過ごしやすいまちとなるよう「暮らしと観光との調和」を図ることとしている。そのため住民と行政が協力し、道路事業や下水道事業、観光振興や歴史、文化の保存、活用などを進めている。



さろがいく みこ 山谷久美子
公明党 (30分)

音楽活動支援事業は

問 取り組みの状況と感想は。

答 この事業は、市内の演奏家に活動の機会を提供し、市民生活に不可欠な業務に従事する皆さまへ感謝やエールの気持ち伝えるものである。2月末現在、延べ30組81名の演奏家により、市内16カ所の事業所等で約700名に音楽

を届けてきた。
取り組みを通して、音楽文化が地域活性化に果たす役割を改めて感じた。今後については感染状況などを見て引き続き検討したい。
福山ばら祭の開催は
問 今年のばら祭の内容は。
答 ローズパレード、ローズコンサートは中止になるが、リアルなイベントとオンラインを融合させたハイブリッド開催をめざすこととしている。なお、開催期間は5月10日からの2週間としている。

* 3月定例会の一般質問の録画放送を見る場合
福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。